５月２１日（金）

朝から警報が出ました。私の家の周囲では、いつもの雨の日ぐらいの降り方です。五條市南部は、降水量が多かったのかもしれませんが、北部に警報が出る状況ではありませんでした。しかし、気象庁としては、雨雲レーダーなどの具体的な状況から判断してのことであり、「警報出たけど、どうってことなかったなあ」が一番いいです。逆のパターンが一番怖いですから。

今朝、新聞を取りにいくと、ポストの取り出し口に雨水が滝のように流れています。ポストの上の樋が詰まっているようで、あふれ出しています。新聞を出すには、ポストのふたを上に上げなければなりません。ふたを上にあげると雨水がそのふたに当たり、はねた雨水が私の体めがけて飛んできます。あわてて閉めると、新聞が取り出せません。仕方なくふたを開けて新聞を取り出しましたが、体は濡れ、新聞も濡れ、気分よくありません。

午後、郵便物が入っているのを見て、取り出しに行きました。新聞を取りにいったときと同じ状況です。今朝以上によくなかったことは、郵便物がすべてＡ４サイズの封筒に入っていたことです。取り出し口がＡ４サイズよりやや小さいので、いつも取り出すのに、一部がひっかかってしまいます。ということは、どういうことになるのでしょう。ポストのふたを、新聞を取り出すに必要な時間以上、上に上げておかなければなりません。私は、今朝以上に「水もしたたるいい男」になってしまうのです。これ以上、したたらなくてもいいのになあ、と思いつつ、いい男になってしまいました。